

## 長崎市提案型協働事業提案企画書

<p>団 体 名</p>	<p>トムテのおもちゃ箱</p>
<p>提案事業の名称</p>	<p>地域のおもちゃ箱発掘事業</p>
<p>提案事業の目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サークル運営の具体的なノウハウを伝えることにより、子育て中の保護者自身が自ら仲間と集い親子で触れ合いながら子育てを楽しめるようなきっかけづくりを提案し、今現在「支援される側」にある育児中の保護者を「支援する側」、地域コミュニティで積極的・主体的に活動できる人材へと育成する。</li> <li>・ 既存の子育て支援センター、お遊び教室等への「参加者」という従来までの子育てのあり方に加え、自らサークルを運営するという新たな子育てのあり方を提案し、子育てに対する選択肢の多様化をはかる。</li> <li>・ 子育てサークルを増やすことにより、育児中の保護者が自分に合ったサークルを見つけやすくし、ひきこもり育児解消のファーストステップとする。</li> </ul>
<p>課 題 の 緊急性・重要性</p>	<p>子どもや子育て家庭を取り巻く環境は、ライフスタイルや価値観の多様化とともに大きく変化しており、子育て家庭も、様々な不安や負担を抱えている。そのような中、育児不安や悩みの解消、仲間づくりの場の提供を目的とした様々な支援事業が行政を中心に行われ、保護者の多くは用意された場所へ「支援される側」として参加する場合がほとんどである。しかし本来、住みよい地域づくりあるいは子育てしやすいまちづくりには子育て中の保護者の主体的、積極的な活動が大変重要である。近所や友達同士で自ら集い、親子でふれあう機会を作るなど、子育て家庭同士での交流の場を広げていけるような人材…「支援される側」から「支援する側」へと保護者を育て、地域における子育て力を養っていくことは、将来的には地域へ貢献できる人材を生み出し、地域コミュニティの活性化にもつながる重要なことと思われる。</p>
<p>協働の必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動場所の確保が容易となり、講座の定期的安定的な開催が可能となる。</li> <li>・ 市と役割分担できることにより団体の得意とする子育てサークル運営のサポート活動に集中できる。</li> <li>・ 子育て支援課がもつネットワーク、広報などの媒体を活用することにより、広く周知することができる。</li> </ul>

<p>協働による 相乗効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が優先して予約できる施設を会場とすることで、活動場所の確保が容易となり、講座の定期的安定的な開催が可能となる。</li> <li>・おもちゃひろばの申込先を市とすることで、参加希望者が安心して申し込むことができる</li> <li>・子育て支援課がもつネットワーク、広報などの媒体を活用することにより広く周知することができる。</li> <li>・当団体が得意とするサークル運営のサポート活動に集中しやすくなり、蓄積したノウハウを活かしたよりこまやかな対応が可能となる。</li> <li>・団体への信頼性が増し、活動に対する理解が深められ、団体の活動そのものの活性化につながる</li> </ul>
<p>協働の役割分担</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 提案団体が果たそうとする役割 おもちゃひろば、連続講座の企画及び開催。 サークル作り及び維持運営のサポート</li> <li>2. 本市に期待する役割 おもちゃひろばの会場確保、広報、参加者申し込み受付 講座開催場所の確保・調整、広報・PR、</li> </ol>
<p>提案事業の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃひろばの開催（親子40組 90名 於南部市民センター） 子育て中の保護者を対象におもちゃを媒体とした、親子の遊び場及び子育て家庭の交流の場を提供 同時に子育てサークルを作るための連続講座の参加者募集</li> <li>・連続講座開催（保護者20名 全6回 於南部市民センター） おもちゃやあそびを中心にサークル運営の具体的な方法を提供 最終回にはサークル立ち上げ、運営の実習を行う</li> <li>・サークルの自主的活動のサポート 報告会交流会（毎月1回） 視察（各団体1回）を行う</li> </ul>
<p>提案事業の 実施体制</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総括責任者 高野幸恵</li> <li>2. 連続講座担当責任者 原口光美他 専従スタッフ4名</li> <li>3. サークル維持運営責任者 高野幸恵他 専従スタッフ4名</li> </ol> <p>トムテのおもちゃ箱では2005年に発足以来（2008年に長崎グッド・トイ委員会より名称変更）おもちゃキットの貸出を中心におもちゃひろばやボードゲーム大会の開催、カプラのワークショップなどおもちゃや遊びを中心とした子育て支援活動を行っている（昨年度の活動実績については別紙参照）。</p> <p>現在の登録団体は16団体 会員 19名</p> <p>有資格者 高野幸恵</p> <p>NPO 法人日本グッド・トイ委員会認定おもちゃコンサルタントマスター 日本プレイセンター協会 スーパーバイザー 教育学修士</p>

	<p>原口光美・堀江香子          NPO 法人日本グッド・トイ委員会認定おもちゃコンサルタント          石瀬尚美          長崎県メディア安全指導員</p>
<p>事業スケジュール</p>	<p>平成24年          4月上旬 おもちゃひろば告知・参加者予約受付・講座準備          5月第3週目 おもちゃひろば開催 (親子40組 90名 於南部市民センター)          第5週目 第一回目講座 仲間をつくろう          (以下連続講座については各々 保護者20名於南部市民センター)          コーディネータ: 高野幸恵 (トムテのおもちゃ箱代表)          6月第1週目 第二回目講座 あそびについて考えてみよう          コーディネータ: 高野幸恵          第2週目 第三回目講座 メディアと子ども          コーディネータ: 石瀬尚美 (長崎県メディア安全指導員)          第3週目 第四回目講座 サークルをつくってみよう          コーディネータ: 原口光美 (おもちゃコンサルタント)          第4週目~7月第2週目 第五回目講座 実際にサークルを運営してみよう          コーディネータ: 高野幸恵・原口光美          和泉由利香・斎宮有由美          *各グループ各々の日程・会場でサークルを開催          7月第2週目 第六回目講座 活動報告会          コーディネータ: 原口光美          9月以降 サークル活動継続のためのサポート          ・報告交流会 (毎月1回) を開催          ・各サークルへの視察 (各団体1回)          コーディネータ: 高野幸恵・原口光美          和泉由利香・斎宮有由美</p>
<p>事業の展望及び今後の活動展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業終了後も、継続的にサークルが活動を行えるようサポートを行なっていく。特におもちゃキットの貸し出し以外にも、子どもから大人まで楽しめるゲーム大会やカプラのワークショップの開催等、年齢に応じた遊びの提案を行い、長期間にわたる継続的なサポートを行う。</li> <li>・本事業の結果によっては、さらに地域を拡大するなど次年度以降も本事業内容同様の活動を継続していきたい。</li> </ul>